

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	一般教養B2		
<b>科目基礎情報</b>						
開設学科	演劇スタッフ科	コース名		開設期 後期		
対象年次	1年次	科目区分	必修	時限数 30時限		
単位数	2単位			授業形態 講義		
教科書/教材	プロが教える電気のすべてがわかる本/舞台・テレビジョン照明基礎編/必要に応じて追加資料の配布					
<b>担当教員情報</b>						
担当教員	三木 拓郎	実務経験の有無・職種	有・舞台照明家			
<b>学習目的</b>						
電気は流れてもそれ自体は見えません。それぞれの舞台スタッフ分野で使用する機械や機器を安全かつ効率よく使用するための基礎になる知識を舞台機構と共に学びます。						
<b>到達目標</b>						
電気の流れ方の基礎を理解した上で配電方法の認識、漏電や感電を防止するために役立つ具体策までを自信で考え行うことができるようになりたい。さらに興味が増せば国家資格（電気工事士）の取得までを視野に入れる。						
<b>教育方法等</b>						
授業概要	基礎知識を理解した上で許容電力の把握、取扱い機器に応じての表記の違いなどを具体例を挙げて理解させる。負荷（取り扱う機材）の電力計算が出来るように学ぶ。					
注意点	漏電や感電の人体への影響などを理解させた上で安全な取り扱いをすればいかに便利であるかを認識させる。基礎知識の認識が重要となる為に振り返りの小テストが重要となる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備考			
	試験・課題	70%	試験と実技課題を総合的に評価する			
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
<b>授業計画（1回～15回）</b>						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	各種テスターの使用方法①	状況に応じた各テスターの使い方（抵抗・導通・電圧）				
2回	各種テスターの使用方法②	状況に応じた各テスターの使い方（電流・漏電）				
3回	舞台機構パート②	舞台吊物機構（綱元・幕類）を理解する				
4回	舞台機構パート③	舞台吊物機構（美術バトン・照明バトン・）を理解する				
5回	舞台機構パート④	舞台床機構（迫・盆・可搬機構）を理解する				
6回	舞台機構小テスト	舞台機構①～④小テスト				
7回	各種工具①	各種工具の適切な使用方法（ドライバー、ペンチ、ニッパ）				
8回	各種工具②	各種工具の適切な使用方法（カッターナイフ、ハンダ、圧着）				
9回	メンテナンス総合①	グループワークにて各種テスター①、② 各種工具①、②を総合して検知からメンテナンスを行う ※評価方法対象				
10回	メンテナンス総合②	グループワークにて各種テスター①、② 各種工具①、②を総合して検知からメンテナンスを行う ※評価方法対象				
11回	メンテナンス総合③	グループワークにて各種テスター①、② 各種工具①、②を総合して検知からメンテナンスを行う ※評価方法対象				
12回	メンテナンス総合④	グループワークにて各種テスター①、② 各種工具①、②を総合して検知からメンテナンスを行う ※評価方法対象				
13回	安全管理	安全管理と労働災害（電気の安全な取扱い、高所作業等）				
14回	実技編のまとめ	実技編のまとめ				
15回	座学編のまとめ	座学編のまとめ、試験対策				